

第2回「論語三代」趣意書

社会福祉法人 福生会
理事長 谷口 宗弘

保育園の幼き子らが論語に触れること。これは、より豊かな人生を歩もうとする幼き子らが、物事をどう考えるべきか、どう行動すべきかを学ぶことであり、彼ら自身の人生を実り多いものにするために必要な基本習慣を身につけることに他なりません。孔子はこのことを「性相近し、習い相遠し」という言葉で仰っています。人生はすべて、習慣の持ちようによって決まると言って過言でなく、幼き時に何を身につけるかが最も肝心なことと考えます。

今まさに彼らの人生は始まったばかり、彼らが立派な大人になり最前線でこの社会を担う時代、私たちの半分はこの世に居ないのかもしれませんが。だからこそ、彼らに心の拠り所となる羅針盤を贈りたい。そんな思いから始めたのが毎月の保育園における論語塾であり、年一回の「論語三代」です。今年が第二回目となります。

昨年の第一回「論語三代」は安岡定子先生をお招きし、賀茂保育園と三喜苑たんぽぽホールで開催し、大変な好評を頂きました。開催に際し、保護者の皆様や地域の皆様方に大変お世話になりましたことを改めてお礼申し上げます。そして今回もまた多くの皆様方に大変お世話になりますこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

今回も引き続き講師を安岡先生にお願いし、三朝町総合文化ホールにて開催します。「論語三代」の名が示しますように、保育園児と保護者の皆様、お爺様お婆様の三代で、論語のひと時を楽しんで頂ければ幸いです。世代を超えて多数のご参加をお待ちしております。

福生会「論語三代」祝辞

三朝町長
吉田秀光

昨年開催されました「論語塾」に引続き、子ども向け論語教育の第一人者である安岡定子先生をお招きし、「論語三代」が開催されますことは、誠に喜ばしく、心からお祝いを申し上げます。

論語は、中国の大思想家「孔子」とその高弟の言行・思想を記録した書物であり、人生を豊かにする至極の言葉が多く記されています。

福生会におかれましては、平成20年度から賀茂保育園の指定管理者として通常の保育に加え、一時保育、延長保育など独自事業に取り組んでいただいております。園児による「論語の素読」は、賀茂保育園の魅力のひとつとして定着し、子どもたちの心の成長に大きな成果をあげていただいております。

今後も引き続き、これらの取組を進めていただくことを願いますとともに、今回の先生と園児・保護者等による論語の素読会が成功し、子どもたちの生きる力の体得、育成につながりますことをご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。